



柏の葉だより



市川市立第五中学校
第11号 令和6年3月13日

「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

第77回卒業証書授与式

3月13日（金）卒業式において卒業生に以下の話をしました。（内容は抜粋）

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

今、一人ひとりに卒業証書を手渡しました。今、皆さんの手元にある卒業証書は、皆さんが五中で学んできた証です。

予測できない未来を生き抜く卒業生の皆さんは、「自己肯定感」をもって生活していくことが大切です。「自己肯定感」とは人生で首尾よく成功を収め、それに自信をもつことではありません。あるがままの自分を受け入れることです。自分の思い通りにいかないことがあっても前を向いて生きる自分や仲間を認め、新たな一歩を踏み出すことです。

15歳の皆さんにとってこれからの人生は選択の連続です。選択とは新しいことへのチャレンジの機会です。今までは義務教育という立場で、親や教師などがその機会に大きくかかわってきました。これからは、皆さんには支えてくれる親や教師はいますが、今後は自分自身が人生の分かれ道の一つ一つ選択・チャレンジしながら進んでいくことがより大切になっていきます。

皆さんは大人になったら、さらに10年後、30年後になったらどんな人生を歩んでいるのだろうかという疑問・期待が常に心の片隅にあると思います。人間が想像できることは、人間が必ず実現できるといいます。第五中学校でしっかり勉強して様々なことに出会い心を動かした卒業生の皆さんは、今後の人生を豊かに生きていく柔軟な頭と大きな心が身につきました。十年後、三十年後の未来を想像し、必ず夢・希望を実現していくことと思います。

たくさんの試練を乗り越えた皆さんは、「自己肯定感」を培い、大きな成長があり、明るい未来が必ずやってくることを確信しています。

はっきりとした強い意思を持った大人になってください。何事にも粘り強く自分自身で考え自分自身で決断する大人になってください。

結びに、今日まで、卒業生の成長に携わっていただいた全ての方々に、厚く御礼申し上げます。式辞といたします。 令和6年3月13日 市川市立第五中学校 校長 川俣 興一



夢への勇気を（日本サッカー協会の方をお招きして）

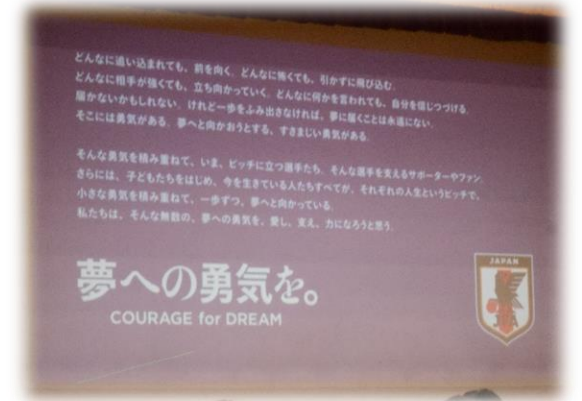
3月6日（水）3年生は公益財団法人日本サッカー協会でマネージャーを務めている方をお招きして、卒業期を迎えるうえで「夢を持って生きる大切さ」についてのお話をいただきました。

現日本代表選手達の紹介や個々の特徴などのお話から始まりましたが、日本代表選手はとにかくよくしゃべる方が多い、個々の主張をよくしゃべると同時に仲間をリスペクトしていることによりコミュニケーション能力の高い方々が日本代表に選ばれている様子がうかがえました。

また、1年後、5年後、10年後の自分の姿、どうなっていたいかを大切に、夢をもち生活していくことの大切さを強調していました。卒業期これから高校生活を迎える3年生は何処の高校に進学したかも大切ですが、高校生活で何をしたいのか、夢、希望に向かって今の生活を大切にすることを確認できた生徒が多くいたことと思います。日本代表に選ばれた事をゴールにしている選手と日本代表に選ばれた後、どうしたいかを思い描くことができる選手では違うようです。今回お話をいただいた日本代表のマネージャーの方は、1年後W杯の出場権をとり、5年後W杯でベスト8、10年後W杯で優勝とっていました。中学生も1年後、5年後、10年後の夢・姿を具体的に示していくことが大切です。



＜日本代表選手の紹介・特徴＞



＜日本サッカー協会 HP 上のメッセージ＞

3月の城山風景

今年は日々の寒暖の差が大きく、服装の調節が難しい日々が続いています。生徒たちの朝の登校風景からはコート、マフラー、手袋など制服以外の防寒具をしてくる生徒は本当に少なくなりました。東京での桜の開花予想は3月18日で昨年同様、全国のトップのようです。3月も10日すぎからは暖かい日々がつづいていきます。卒業式の日梅の花は散っているでしょうか。来月からは新しい場所、ステージで活躍する人にとっても高台である城山の春は格別です。それぞれの活躍を城山が永遠に見守っています。

＜文責：校長 川俣＞



五中 HP を
ご覧ください

